

## 【記者からの質問】

<SAGA2024 国スポ・全障スポについて>

朝日新聞／全国的に廃止の議論がある中で迎える大会。どのような大会になれば、開催する意義があった、と言えるものになるのか。

知事／国体に対する議論が起こる前から、佐賀は新しい大会を目指していた。昨年の開催地を鹿児島県に譲る際、国スポの第1回大会を佐賀で開催することが条件だった。体育からスポーツに名称が変わるこの大会を、新しい大会にしようと準備をしてきた。

今年になって、経費がかかると廃止を含め体制の見直し論が、知事会でも起きた。先日、福井県であった全国知事会で、佐賀の大会は新しい大会だと説明したが、全国の知事はほとんど知らなかった。今までと同じで、名前が変わるだけだと。村井会長（宮城県知事）をはじめ、多くの方々が視察に来られる大会になる。

成功の秘訣は、「する」、「観る」、「支える」、そして「稼ぐ」という佐賀県の新しい考え方。体の育成を主眼とした始まった大会から、全ての人にスポーツの力を届ける大会へ。人々がスポーツを観て頑張ろうと思え、そして支え、アスリートがスポーツで稼げるようになる。その循環があり、みんなが幸せを感じられる。

国スポ・全障スポに来てよかった、今までの大会とは違うと思ってもらえれば成功。新たな挑戦が多いので、失敗もあるだろうが、それは次の大会につながる。発展型の国スポ・全障スポになる、その礎となる大会にしたい。

朝日新聞／村井知事以外にも何人かみえるのか。

知事／結構な数だと思う。現場を知ってから、どういう大会を目指すのか議論を始めてもらいたいと話したら、村井知事からは快諾を得た。そのほか多くの方々が、開会式に来られるので、知事会の議論の礎になればと期待している。

<九州新幹線西九州ルートについて（その1）>

朝日新聞／本日午後、国交省との「幅広い協議」が1年半ぶりにある。引馬部長への指示内容や今回の協議への期待を聞きたい。

知事／引馬部長には、率直で闊達な議論をしてほしいと伝えた。

県議会で、県議から国は公開の場ではカードが切れないと言っている。非公開で開催してはと提案があったのがきっかけで、今日の非公開の協議に至った。

そこで何かが決まる会ではない。様々な問題に対し、忌憚なく意見交換できれば、一定の成果だと考える。

朝日新聞／今まで、知事はいろいろなチャンネルで議論をされていた。今後の議論の展望を。

知事／平成4年に長崎県から、新鳥栖と武雄温泉間は在来線を使うと決定し、それで合意したのが原点。しかし、在来線を使えなくなったと発表があり、それならば新たな合意が必要だと佐賀県は考えた。現在は、合意がない状態。

国の提案で「幅広い協議」も行い、様々な皆さんと意見交換もしてきたが、新しい合意ができる環境ではない。原点に戻って地元合意からやるべきと、3者の意見交換もしてきた。

このような経緯から、佐賀県が長崎県のことも考えて、どんな思いで議論を重ねてきたかを長崎県民にも伝えて、と大石知事にも話している。

JR九州のお考えを古宮社長と直接話すことも意義があると思うようになった。古宮社長とは、ほかの機会でお会いすることも多い。その際に、新幹線問題の意見交換ができる機会をつくりたい。

#### <南海トラフ地震について（その1）>

朝日新聞／佐賀県として南海トラフにどう備えるか、対策を進めるかを聞きたい。

知事／歴史的に、地震は周期的に起きている。近年は、その周期の間隔が空いているが、いずれ大きな地震の可能性もあり、佐賀県も準備している。佐賀県は、歴史上大きな地震がなかった。県民への啓発が大事になる。

南海トラフでの佐賀県の津波想定はゼロ。総務省は、都道府県を応援する側と応援される側に整理。佐賀県は支援する側で、大分県の応援になると聞いている。現在、その体制の組み方を準備している。熊本が防災拠点だと整備されているが、熊本は佐賀より被災する可能性がある。佐賀も支援拠点に足り得るべく、佐賀空港や港湾などハード整備も踏まえた上で、準備を進める。必要な施設整備は、国に対して訴えていく。

いざというときに、佐賀が活躍できる体制を組むことが、私たちの今の仕事だ。

#### <オスプレイについて>

佐賀新聞／8月上旬に、米軍の事故原因が公表された。人為的要因ととらえているのか、機体の安全性をどう評価しているのか教えてほしい。

知事／事故に対し米軍から公表があった、という点で一定の評価をする。

警報が鳴ったが、パイロットが対応しなかったという人為的なミスへの対応策は、十分に検討してほしい。また、ギアの不具合は、詳細が不明とのこと。さらに検証を進めて、事実解明をしてほしい。

#### <有明海再生について>

佐賀新聞／政府は、有明海再生のための事業を来年度予算に事項要求する方針を固めた。県と国で、やり取りがあったのか。要求したいメニューがあれば教えてほしい。

知事／私が求めたいメニューは、有明海漁協や県水産センターが、すでに取り組んでい

る。今までのメニューにない西南部へのものが考えられる。

有明海の問題は、閉門した国が原因。その国が和解協議で、開門にかわる基金で有明海再生を打ち出した。それを地方負担というのは、私にはぴんと来ないし、そんな話はきかないと思う。具体的には、落合副知事が調整中。事項要求の内容も確認する。

<知事としての立場について>

佐賀新聞／兵庫県知事の状況への所感と、山口知事が立場上、気をつけていることがあれば教えてほしい。

知事／兵庫県にも事情があるので、私がコメントしてはいけないと思う。

私が気をつけているのは、県民の信頼を裏切らないよう、まじめに、真摯に、うそをつかないこと。私は、権力を持っているが、一人では仕事ができない。職員には言っているが、知事は指揮者、職員が演奏者としてよく練習し、いい音楽を鳴らすことができる。

最後の決断や決定をして、責任を負うのが知事の仕事。説明責任を果たしながら、まじめに職務を全うしている。その姿を県民の皆さんや職員にわかってほしい。

ただ、人間なので間違えることもある。常に改善努力し、真摯な姿勢を貫くことが大事だと思う。

<南海トラフ地震について（その2）>

NHK／佐賀県は、津波による被害想定はゼロだが、震度5クラスの揺れは想定される。揺れ被害への防災対応をどうお考えか。

知事／佐賀県の弱点は、揺れに対する耐性がないこと。事前の家具の固定も大事だし、震度5の地震のときにどう行動するか。今後、力を入れて取り組みたい。

NHK／現時点で、大分県への支援の形をどのように想定しているのか。

知事／熊本地震では、西原村の人的支援の対応をした。大分県の状況に応じて、主に人的支援を行う。自衛隊、警察、消防など指揮支援も含めて準備する。大分県とは、職員間の連携を強化したい。

<九州新幹線西九州ルートについて（その2）>

西日本新聞／先月の与党検討委員会で、JR九州の古宮社長の発言に対して、知事の受け止めを。

知事／在来線は命綱。新鳥栖－武雄間がフル規格になっても、在来線・特急が一定数必要だとJR九州側に認識があることはいいことだ。

問題はほかにも、莫大な財政負担、ルートの問題、地域振興の件がある。それらをセットで交渉し、決まっていくことだと思う。「在来線が大切」という点で一致できれば、

いずれ何かの合意ができることのためにはなるのではないか。

西日本新聞／JR九州古宮社長との意見交換の時期は、見通しがあるのか。  
知事／JR九州社長、相談役とは会う機会が多い。その際に、時間をとって新幹線の話ができればと考えている。会議ではなく、フランクに話せる一対一で話を聞く時間があったらいいのかなど。

<県立大学について>

西日本新聞／総合庁舎の移転の検討状況、新たな課題があれば教えてほしい。  
知事／落合副知事が佐賀市と連携するチームをつくり検討中なので、そちらにお任せしたい。農林事務所の移転先は、大和支所を検討中で、決まったわけではない。ほかの事務所も、民間のビルの利用など、まちづくりを含めて議論を進めている。

サガテレビ／町村会から早期実現を求める声が上がっている。9月議会では、議論をどう進めていくのか。

知事／少しでも早く県立大学をつくりたい。現在、鋭意精査、検討中。そこがまとまれば、9月初旬の記者会見で、予算の説明ができればと考えている。

サガテレビ／県立大のプレスリリースのときに「仮称」と入っている。どのタイミングで「仮称」を取るのか、もしくは、オリジナルのネーミングを考えているのか。

知事／いつ「仮称」を取るのか意識している。

県民の皆さんや職員の多くは、「佐賀県立大学」のままがいいという意見。このままの可能性が高い。名前を公募するつもりはないが、意見があれば賜りたい。

<九州新幹線西九州ルートについて（その3）>

毎日新聞／協議の在り方へのお考えと、地元合意形成への見通しを伺いたい。  
知事／地元合意を作るのは大変なこと。平成4年の合意の際も様々な問題があった。時間をかけて協議し、双方が折れて合意に至った。そこから、両県がタッグを組んで国との協議に入った。その結果、合意した案がご破算になった。ご破算の処理を待っていた佐賀県は、別の合意が前提になった話に驚いた。だから、新たな合意が必要だと考えた。

それでも、国から幅広い協議の申出には応じ、原点に戻り地元で気持ちに通じるなら、と国の与党PTで意見を申し上げ、JRとの3者協議まで来た。

その後、国が出てくるものだ、と私は思う。まずは、地元で整備新幹線の枠組みで、どのような新たな合意がつかれるのか。議論を進めていけばいいと思う。

<国立大学の学費引き上げについて>

佐賀新聞／国立大学の学費引き上げについて、お考えを聞きたい。

知事／学費が高いという話はよく聞く。それも、県立大学を志した要因の一つ。県外に行くと生活費が高い。佐賀に大学があれば、と考える人は多い。4大に行く人が増えて  
いる中、費用の問題に対する視点が必要だと思う。